

神戸市長選挙 公開質問書に対する回答一覧

質問 1 野宿者を取り巻く課題についてどのように考えておられるのかお答え下さい。

| 松村 勉 候補 | 瀬戸 恵子 候補 | 矢田 立郎 候補 |
|---|---|--|
| <p>震災後、メリケンパークに野宿者の方が多く生活されるようになりました。話を聞くと必ずしも何らかの理由があって野宿者の生活を強いられている方だけではなく、一般の市民の方も野宿をせざるおえない状況になっていることを知りました。いつしか神戸市メリケンパークの野宿者を排除しました。本来弱者を守るべき役所がこのようなことをしたことに対する憤りも今回の出馬のきっかけになっています。弱者は守らなければなりません。</p> | <p>長期不況と、大企業や大金持ちは優遇しながら社会的弱者にしわ寄せする政治のもとで、また神戸では大震災の影響もあり、ホームレスは全国で2万5千人以上、神戸市でも約300人(貴団体の調査や国の全国調査、市の毎年の目視調査による)と増えています。食事も満足にとれず、公園や河川敷などでの野宿による体調の悪化、体力の低下・衰弱から死者まで生じ、憲法25条の生存権が侵害されている、一刻も放置できない深刻な状態です。</p> <p>貴団体のような貴重な支援活動があり、国の特別措置法が施行されて3年以上、神戸市の実施計画が策定されて1年以上たちますが、事態は改善されていないと認識しています。</p> <p>解決への課題として、ホームレスから緊急に離脱できる住居を国と自治体の責任で確保すること、生活保護行政を実態にあわせて改善すること、ホームレスに十分な医療を保障すること、仕事と生活のできる賃金の保障、安定した職業につくための支援を強化すること……などを考えています。</p> | <p>依然として厳しい経済・雇用情勢等を背景として、神戸市内においても、自立の意志がありながらホームレスとなることを余儀なくされている人々が多数おられます。</p> <p>有効求人倍率が増加傾向にあるなど景気回復の兆しが見られると言われますが、社会経済状況の変化が続く中で、ホームレスの方の就労についてはしばらく厳しい状況が続くと考えられます。</p> <p>ホームレスになるに至った原因としては、主として、就労する意欲はあるが仕事がなく失業状態にあること、医療や福祉等の援護が必要なこと、社会生活を望まないことの3つがあり、これらが複雑に重なり合ってホームレス問題が発生していると考えられます。</p> <p>その背景としては、長期的な不況などの社会・経済情勢の低迷とそれに伴う失業者の増加、家族やコミュニティのつながりの希薄化、ホームレスに対する社会的な排除等があると指摘されています。</p> <p>ホームレス対策を実施するにあたっては、こうした要因や背景を踏まえ、ホームレスとなる恐れのある方も含め、自らの意思で安定した生活を営めるように支援することが基本と考えます。</p> |

質問 2 実施計画に沿ってどのように支援施策を充実されようと考えておられるのかお答え下さい。

| 松村 勉 候補 | 瀬戸 恵子 候補 | 矢田 立郎 候補 |
|---|---|--|
| <p>野宿者が早急に人権を守られるべき、天井のある最低限の生活はできるように役所として急務として行っていきます。</p> <p>ただし、入所者は自立の為の努力をしてもらわなければなりません。自立に向けての支援と指導を行っていきます</p> | <p>市の実施計画は、10項目の基本目標をあげ、その各課題に対する取組方針をかかげています。しかし、支援のための人員配置をはじめ、支援施策・施設の拡充などの数値目標もなく、全体として、関係各部署が事案ごとそれぞれにこれまでの施策で対応し、連携・協力のための連絡会議を庁内に設置しただけの範囲にとどまっています。また、施策の実施にあたっては、ホームレスから相談があれば相談に応じるという枠をこえず、積極的に行政の側から出かけていって個々の事情をよく聞き、それに応じた施策を能動的に実施する姿勢ではありません。</p> <p>実施計画に沿って支援施策を充実するためには、庁内の連絡会議にとどまらず「支援室」など一定の人員・予算をともなう専門の部局を設置し、統一的に計画をすすめることが必要です。NPO、ボランティア団体など民間団体について、実施計画は行政だけでは十分ではない分野で一定の役割を果たしていること、今後も重要な役割を果たすことへの期待をのべています。これら団体のおこなう事業についての市の補助も検討します。</p> | <p>神戸市では、ホームレス対策に関して、関係各部署が必要に応じて役割分担を行い、問題・事例ごとに連携・協力しながら適切に対応してきました。</p> <p>15年7月に国の基本方針が告示されたことを受けて、神戸市のホームレス対策に関する庁内の協力体制を確保し、実施計画の円滑な実施を図るため、15年10月に神戸市ホームレス対策連絡会議を設置しました。</p> <p>毎年実施しているホームレス一斉調査や、巡回相談等により随時状況を把握し、個々の状況に応じた適切な支援を行っていく考えです。</p> |

質問 3 若年層、および女性の野宿者に対して、新たな発想でその支援策を構築する必要があると考えます。どのように考えておられるのかお答え下さい。

| 松村 勉 候補 | 瀬戸 恵子 候補 | 矢田 立郎 候補 |
|--|---|--|
| <p>若年層は特に生活を自立するチャンスは高いです。</p> <p>仕事を役所としても積極的に提供し、自立に向けがんばってもらいます。女性の野宿者に対しては、より性別も含めた人権の保護をしていこうと考えています。</p> | <p>若年層の就職難は特に深刻であり、非正規雇用、使い捨てが横行してホームレスを生む土壌になっています。社会の発展の中でつくりあげられてきた働くルールが、いま突き崩されていますが、働くルールをいっそう発展させて、不安定雇用をなくしていく政治が必要です。また、本来若年者に生きる力を育むことが教育の目的のひとつですが、今日の教育ではゆがめられているのも問題であり、差別と選別の教育から人間性を育む教育にあらためていきます。具体的には、就業未体験の若年層を対象に職業能力の開発、就業のためのNPO法人の設立（中小企業対象の支援業務に従事）をすすめます。</p> <p>女性のホームレスの場合は、男性以上に利用できる施設も少なく、野宿者の現状にふさわしい施設整備が必要です。女性は体力的にも男性より弱く、母性保護の問題もあります。個々にていねいに相談にのり、対応策がとれるよう、特別の相談体制をとります。</p> <p>なお、私は公約のひとつに、「若者と女性の働く場の創造」をかかげていることを、申し添えておきます。</p> | <p>ホームレスの方は、様々な個人的要因が絡み合っって複雑な問題を抱えているため、個々の状況を把握し、個別ケースごとに相談支援に努めるとともに関係機関との密接な連携のもと柔軟に対応することが必要と考えます</p> |

質問 4 野宿者問題の解決のために生活保護制度が果たす役割は極めて重要なものがあります。しかし、福祉事務所の恣意的な運用によって要保護状態の人が生活保護制度から排除されていることが日常的に多発しているようにも思えます。生活保護制度に関してどのように考えられているのかお答え下さい。

| 松村 勉 候補 | 瀬戸 恵子 候補 | 矢田 立郎 候補 |
|--|--|---|
| <p>生活保護の制度は弱者を守る為の制度です。しかしながら、残念なことにこの制度を悪用する人がいることも事実です。本当に困っている人なのか悪用しているのかの判断を役所として適切に一步踏みこんだ判断をしていく必要があります。本当に困っている人は当然保護していきます。</p> | <p>生活保護法は、憲法25条の理念にもとづいて、生活に困窮するすべての国民に、健康で文化的な生活水準を保障するものです。生活保護を適切に運用することは、ホームレスの救済に大きな役割を果たすと同時に、ホームレスを増やさないためにもきわめて重要です。</p> <p>2003年7月31日付の厚生労働省社会・援護局保護課長通知は「ホームレスに対する生活保護の適用に当たっては、居住地がないことや稼働能力があることのみをもって保護の要件に欠けるものでないことに留意し、生活保護を適正に実施する」としています。神戸市の実施計画は、生活保護法による保護の実施について、さまざまな条件をつけていますが、生活保護法の精神と厚労省通知にもとづき、積極的に生活保護を適用します。また、個々の相談・援助に十分対応できるケースワーカーなどの増員をはかります。</p> | <p>ホームレスに対する生活保護の適用については、一般の方と同様であり、単にホームレスであることをもって当然に保護の対象となるものではなく、また、居住の場所がないことや稼働能力があることのみをもって保護の要件に欠けるといことはありません。</p> <p>こうした点を踏まえて、資産、稼働能力や他の諸施策等あらゆるものを活用してもなお最低限度の生活を維持できない方について、最低限度の生活を保障するとともに、自立に向けて必要な保護を実施することになると考えます。</p> <p>支援の際には、ホームレスの抱える問題・状況を十分に把握した上で、自立に向けての指導援助の必要性を考慮し、市民の理解が得られるよう適切な保護を行う必要があると考えます。</p> |

質問 5 少年らによって野宿者が襲撃されるといった事件が全国的にも相次いでいます。こういった問題についてどのように考えておられ、今後防止するためにはどのような施策が必要と考えておられるのかお答えください。

| 松村 勉 候補 | 瀬戸 恵子 候補 | 矢田 立郎 候補 |
|--|--|--|
| <p>青少年の非行や道徳観の欠如は教育の問題もあり、切り離して考えなければなりません、弱者を守るための結束、警護パトロール等の強化を図っていきます。</p> | <p>「勝ち組」「負け組」をことさらにいいたてる社会、豊かな人間性を育み人間を人間として尊重する国民を育てるべき教育のゆがみ...これらが少年らによるホームレスへの襲撃事件や嫌がらせを生む背景にあると思います。根本的には、こうした社会や教育のゆがみをただす政治を実現することが必要です。同時に、ホームレスも地域の住民の一人として、住民みんなであたたかく見守る態勢をつくり、警察もふくめた防犯パトロールの強化をはかります。</p> | <p>野宿者の人権にかかわる問題と認識しており、今年9月に市内の中学1年生に配布した啓発冊子「あすへの飛翔～人権について考えてみませんか。」でも人権課題の1つとして「ホームレスの人権」について説明しています。また、長期休業や連休の前には、人権尊重の観点から、ホームレスに対する理解を深め、偏見や差別の解消に向けた指導を各学校において行うよう、指導しています。</p> <p>事件防止の観点からは、各地区の生徒指導連絡会において、指導の徹底と校外歩道活動を行っています。</p> <p>今後も、こうした取り組みを強化して、事件防止に努めていきたいと考えています。</p> |

質問 6 野宿からの脱却、そして野宿化の予防策として雇用対策が重要と考えます。どのように考えられているのかお答え下さい。

| 松村 勉 候補 | 瀬戸 恵子 候補 | 矢田 立郎 候補 |
|--|---|--|
| <p>まずは役所内の仕事で野宿者の方々に仕事を してもらえるものを積極的に提供していきます。 後は役所やNPOを含めて自立の支援を行って いきます。</p> | <p>ホームレスの大半は、働く意欲がありながら、 仕事につけない労働者ですが、04年の全国調査 によると、野宿生活をする直前の雇用形態は、神 戸市の場合、常勤職員・正社員が50%、日雇い が30%をしめています。野宿生活に至った理由 は、仕事が減った、倒産・失業。病気・けが・高 齢で仕事ができなくなったの3つの合計で7 7%、今日のきびしい雇用・失業情勢が反映して います。</p> <p>ホームレスの就業支援に一定の効果があった 国の緊急地域雇用創出特別交付金の制度は昨年 度で打ち切られましたが、今年度から開始された ホームレス就業支援事業が実効あるものとなる よう求めています。また、市としてもホームレ スが安定雇用に移行するまでの間の公的な就労 事業を臨時的に実施し、生活できる賃金を保障し ます。</p> <p>根本的には、大企業のリストラや下請けの切り 捨て、長時間労働（残業）、非正規雇用化を規制 すれば、安定した雇用を大幅に増やすことができ ます。</p> | <p>就業斡旋等の労働行政に対して、市が直接関与 できる部分は限られていますが、安定した働く場 が確保されることは市民生活の基盤であるため、 重要な課題であると考えております。</p> <p>引き続き、「2万人の雇用創出」に取り組み、 市民の方が働く場をつくりだすとともに、兵庫労 働局や公共職業安定所（ハローワーク）、兵庫県 等の雇用に関する施策を行っている機関との連 携を強化し、神戸市域の雇用情勢の改善に努めて いきます。</p> |